

# クラブ活動の実践の報告

## 1. はじめに

新しい学習指導要領が全面実施となり、その総則には「児童・生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要としつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること」と明記されており、キャリア教育の充実が求められている。

また、小学部教員で教科学習とは別の縦割りグループでの運動、ダンス、ものづくりなどの活動を行う時間を作りたいという意見があった。異年齢での繋がりを深め、協力し合う力の向上を目的とするクラブ活動を通して、児童同士の交流やキャリア教育の充実につながるのではないかと。



クラブ活動をはじめよう！

## 2. 実践内容

2回の体験後、所属クラブを自分で決めた。



### スポーツ・うんどうクラブ

ボッチャ・サッカー・ディスクゴルフなど



スポーツに意欲がある児童が集まることによって、教師の指示に対する反応も早く、普段の運動Ⅰ・Ⅱの授業よりテンポ良く進めることができた。授業とは違った形でのスポーツ体験ができた。

### イングリッシュクラブ

あいさつ・フォニックス・パフェ作りなど



言語が変わっても、活動内容が普段行っていることにつながっているのか、参加している児童すべてが教師の発音に合わせて英語を発音していた。

## 3. 実践を振り返って

キャリア教育で求められている育成すべき能力、基礎的・汎用的能力のうち、特に次の2つの領域について指導のねらいを定めることができた。「キャリアプランニング能力」に関して、児童は2つのクラブを比較検討し、自分で選択することができていた。次に「人間関係形成能力」に関しては、各児童の主体的なクラブ選択により、今までとは違うメンバーで活動を行うことができた。これらの能力の育成は、本校小学部の指導の基本観点である「人と関わる力」「やってみる・楽しむ力」の育成につながったと考える。